



いのちとくらしをまもる  
防 災 減 災



令和5年12月14日  
中部地方整備局防災室  
木曾川上流河川事務所

## 情報通信と排水作業の複合訓練を実施します。

～災害発生時の迅速かつ円滑な災害対応に向けて～

### 概 要

国土交通省中部地方整備局と木曾川上流河川事務所は、大垣市を訓練フィールドに選  
び、災害発生時の応急対策が迅速かつ円滑に実施されるよう、国土交通省が保有する通  
信資機材を活用した情報通信訓練（通信確保、情報伝達、被災映像の共有等）及び木曾  
川上流河川事務所が作成する排水作業準備計画を活用した排水作業訓練を実施します。

1. 開催日時 令和5年12月22日（金） 12：45～15：30
2. 開催場所（取材可能場所）
  - 概要説明（12：45～）
    - ・揖斐川大垣河川防災ステーション（大垣市馬の瀬町1154番地3）
  - 訓 練（13：15～）
    - 〈防災ヘリ、Car-SAT等からの映像受信〉
      - ・揖斐川大垣河川防災ステーション
      - ・大垣市役所（3階 会議室3-1）
    - ※木曾川上流河川事務所長が大垣市長へ訓練状況等を説明する状況についても取材可能。
    - 〈排水ポンプ車等の設置〉
      - ・新水門川排水機場（大垣市横曽根地内）
3. 訓練内容 情報通信訓練及び排水作業訓練
4. 参加機関
  - ・国土交通省 中部地方整備局  
防災室、木曾川上流河川事務所、多治見砂防国道事務所、越美山系砂防事務所、  
新丸山ダム工事事務所、高山国道事務所、木曾川水系ダム統合管理事務所
  - ・大 垣 市
5. 解 禁 指 定 な し
6. 配 布 先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、大垣市政記者クラブ
7. 問合せ先
  - 〈訓練全般に関すること〉  
木曾川上流河川事務所 TEL：058-251-1125  
副 所 長 原 幹彦 または 流域治水課長 小泉 陽彦
  - 〈防災ヘリ、Car-SATに関すること〉  
中部地方整備局 防災室 TEL：052-953-8357  
防災室長 吉田 光則 または 地震津波対策官 下平 暢保
8. そ の 他 取材を希望される方は、別紙（取材申込書）にて事前申込みをお願いします。

## 訓練想定・内容

- 出水時、新水門川排水機場の排水ポンプ3台が故障したことを想定し、以下の訓練を実施。



### <排水作業訓練※>

新水門川排水機場付近に排水ポンプ車及び照明車を派遣し、設置。

### <情報通信訓練>

以下の映像を揖斐川大垣河川防災ステーション(対策本部車内)と大垣市役所で受信。

- ・新水門川排水機場における排水ポンプ車等の設置状況
- ・水門川上流部の内水状況(防災ヘリ、Car-SAT)

※令和4年度に実施した排水作業訓練の動画

木曽川上流河川事務所HP 木曽川上流水防災協議会 令和4年度

○木曽川上流河川事務所が作成する排水作業準備計画に関する説明動画を作成しました

[https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/suibo\\_kyougai/data/haisuikaikaku\\_setsumeim.mp4](https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/suibo_kyougai/data/haisuikaikaku_setsumeim.mp4)

## 取材可能箇所

概要説明(12:45~)

揖斐川大垣河川防災ステーション

訓練(13:15~)

<排水ポンプ車等の設置>

- ・新水門川排水機場

<防災ヘリ、Car-SAT等からの映像受信>

- ・揖斐川大垣河川防災ステーション
- ・大垣市役所(3階 会議室3-1)





# 使用機器と訓練イメージ



## 防災ヘリとの無線通信 及び映像伝送

防災ヘリ搭載カメラを活用し、撮影した映像を衛星通信回線経由で伝送します。被災現場の広域映像を迅速に伝え、災害復旧活動を支援します。



## Ku-SATを活用した 自治体との情報共有

Ku-SATを活用し、自治体（大垣市）との衛星通信回線を構築します。被災現場状況の情報共有等を行い、災害復旧活動を支援します。



## 対策本部車による 現地対策本部の設置

対策本部車を活用し、現地での対策会議や災害対策本部（本局・事務所）との情報共有等を行います。被災現場での陣頭指揮を担い、災害復旧活動を支援します。



## 衛星通信車による リアルタイム画像伝送

衛星通信車を活用し、被災現場における衛星通信回線を確保します。被災現場からの映像・音声を伝え、災害復旧活動を支援します。



## カーサットによる 走行しながらの映像伝送

Car-SATを活用し、地上走行を行いながらリアルタイムに高品質映像と音声の伝送を行います。被災現場からの鮮明な映像と音声を伝え、災害復旧活動を支援します。



## 排水ポンプ車による 浸水地域の排水作業

浸水地域において、迅速な排水作業を行うことによって、浸水被害を最小限に抑え、災害復旧活動を支援します。

※本訓練では実際の排水は行いません  
(排水ポンプ車の設置のみ)

令和5年度 情報通信と排水作業の複合訓練

取材申込書

標記の取材をご希望される報道機関におかれましては、本紙に以下の必要事項をご記入のうえ、期限までにメールまたはFAXにて送信をお願いいたします。

**期限 令和5年12月19日（火）16時00分まで**

1. 報道機関名 \_\_\_\_\_

2. 取材者

(1)お名前（複数名の場合、代表者名）

\_\_\_\_\_

(2)ご連絡先 TEL \_\_\_\_\_

(3)取材人数 \_\_\_\_\_ 人

3. 申込先

以下のメールアドレスまたはFAX宛にご送信ください。

**木曽川上流河川事務所 流域治水課**

**メール：cbr-kisojyo-chosa@mlit.go.jp**

**FAX：058-251-1150**